

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。
- この「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された商品の仕様には含まれない項目も記載されています。あらかじめご了承ください。

### 警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

#### 指定外のアンプ出力電圧で使用しない（ハイインピーダンス仕様）

表示されたアンプ出力電圧以外の電圧で使用しないでください。  
火災の原因となります。



#### ガソリン、シンナーなど可燃性の雰囲気中では使用しない

爆発の原因となります。



#### 設置場所の強度を確認

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。  
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



#### 積雪量の多い地域では防雪対策をする

スピーカー本体に積雪しないような適切な防雪対策を施してください。  
積雪により落下して、けがの原因となります。



#### 指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。



#### 適切なボルト、ナット類を使う

取り付け場所の材質、構造に応じた適切なボルト、ナット類を使用してください。  
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



#### 各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると落下して、けがの原因となります。



#### 落下防止に安全ワイヤーを取り付ける

高い場所に取り付けるときは、安全のため安全ワイヤーを取り付けてください。  
災害や腐食などにより落下して、けがの原因となります。



#### 常時振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下して、けがの原因となります。



### 注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

#### 配線は、アンプの電源を切ってからおこなう

感電の原因となることがあります。



#### 設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所（屋外用は除く）や熱器具の近く、油煙や湯気、酸性やアルカリ性、油や溶剤の雰囲気にあたるような場所に置かないでください。  
火災・感電・落下の原因となることがあります。



#### 長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



#### 製品の上に乗らない、ぶらさがらない

本機を足場代わりに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



#### 定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。また車載スピーカーとして使用するときは、乗車の前に点検をしてください。



スピーカーまたは取付金具類の破損や腐食などにより落下して、けがの原因となることがあります。

## 使いかた

### ホーンとドライバーユニットの組み合わせのご注意

- 当社従来品のホーンとドライバーユニットの結合ねじはミリねじでしたが、本機はインチねじを採用しています。結合ねじがミリねじの従来品と本機との組み合わせはできません。

[インチねじを使用の製品] ホーン : TH-750、TH-760、DH-110、DH-120、DH-40  
ドライバーユニット : TU-730A、TU-730AM、TU-750、TU-750M、TU-760、TU-760M

- 日本消防検定協会認定評価品のドライバーユニットは、下記の組み合わせでお使いください。他の組み合わせはしないでください。

ドライバーユニット(日本消防検定協会認定評価品)	TU-730AM、TU-750M、TU-760M
ホーン	TH-750、TH-760

- 日本消防検定協会認定評価品以外のドライバーユニットは、下記の組み合わせでお使いください。

ドライバーユニット(認定されていないもの)	TU-730A、TU-750、TU-760
ホーン	TH-750、TH-760、DH-110、DH-120、DH-40

### ■ 使用上のご注意

[正面方向から見た図]

- 水抜き穴は地面方向に向けて取り付け( SC-705、710、715 シリーズ)  
雨が内部にたまり、故障の原因となることがあります。



#### ● 極性を合わせる

同じ場所で複数のスピーカーを使用するときは、必ずスピーカーの極性 [スピーカーケーブルの黒色 (+)、白色 (-)、COM] を合わせてください。極性が合っていないと低音が出なかったり、音が小さくなったりします。接続方法は、並列接続のときはスピーカーケーブルの同色を、直列接続のときは異なる色どうしを接続してください。

#### ● アンプにローインピーダンスとハイインピーダンスのスピーカーを同時に接続しない

ローインピーダンスとハイインピーダンスのスピーカーを同時にアンプに接続すると、アンプの故障の原因となります。どちらかのスピーカーだけを接続してください。

メ モ

- ローインピーダンスのスピーカーとは、マッチングトランスがない製品です。
- ハイインピーダンスのスピーカーとは、マッチングトランス付きの製品です。

### ■ アンプとスピーカーの配線のしかた

#### ● ローインピーダンスのスピーカーを使うとき

複数のスピーカーを使うときは、同じ定格入力、同じインピーダンスのものをご使用ください。

- スピーカーの合成インピーダンスが、アンプの出力インピーダンスに等しくなるように接続してください。スピーカーの合成インピーダンスが小さいと、スピーカーやアンプの故障の原因となります。
- すべてのスピーカーを並列接続にするときは、スピーカーの定格入力を合計したものがアンプ出力以上になるようにしてください。

ご注意

スピーカーケーブルは、送電損失を少なくするために、単線  $\phi 2$  mm 以上または、より線  $3.5$  mm<sup>2</sup> 以上をお勧めします。配線が長くなる (30 ~ 50 m) ときは、別売のマッチングトランスを接続しハイインピーダンスでご使用ください。

#### ● ハイインピーダンスのスピーカーを使うとき

スピーカーの定格入力の合計がアンプ出力に等しくなるか、以下になるように接続してください。

スピーカーの定格入力の合計が、アンプ出力よりも大きいとアンプの故障の原因となります。

すべてのスピーカーは並列に接続してください。

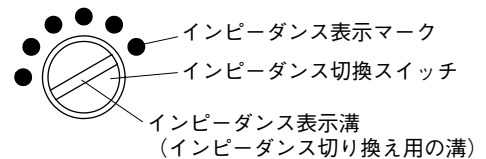
### ■ インピーダンスの切り換えかた

インピーダンス切換スイッチの溝にマイナスドライバーを差し込み、設定するインピーダンスまで回転させます。

[OFF] 表示の位置では、スピーカーがアンプから切り離され、音が出ません。

メ モ

- 工場出荷時には、スピーカーの定格入力に設定されています。
- スピーカーの定格入力とインピーダンスは、定格銘板に表示されています。



<b>TOA お客様相談センター</b> 商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。 最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。
--	--	--	--

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>